

健康セミナー

『高齢者施設のご紹介』

～老健ってどんなところ？～

宮崎江南病院附属介護老人保健施設
支援相談員

万が一、自宅での生活が難しくなったら

- ▶ 入院により、足腰が弱ってしまい、歩けなくなった
- ▶ 同居の家族が入院等により、身の回りの支援をする方がいなくなった

など、様々な理由で自宅での生活ができなくなる場合があるかもしれない・・・。



こんな時に

ご本人並びにご家族が安心できるよう、
介護老人保健施設のご紹介をさせていただきます。

介護老人保健施設（老健）とは？

- ▶ 何を目的とした施設なのか？
- ▶ どんな人が利用できるのか？
- ▶ どんな専門職が配置されているのか？
- ▶ どんな利用の仕方があるのか？
- ▶ どれくらいの費用がかかるのか？
- ▶ 入所期間はどれくらいか？



▶ 何を目的にした施設なのか？

→ 介護を必要とする高齢者の自立を支援し、介護、看護、リハビリを提供し、家庭への復帰を目指す施設



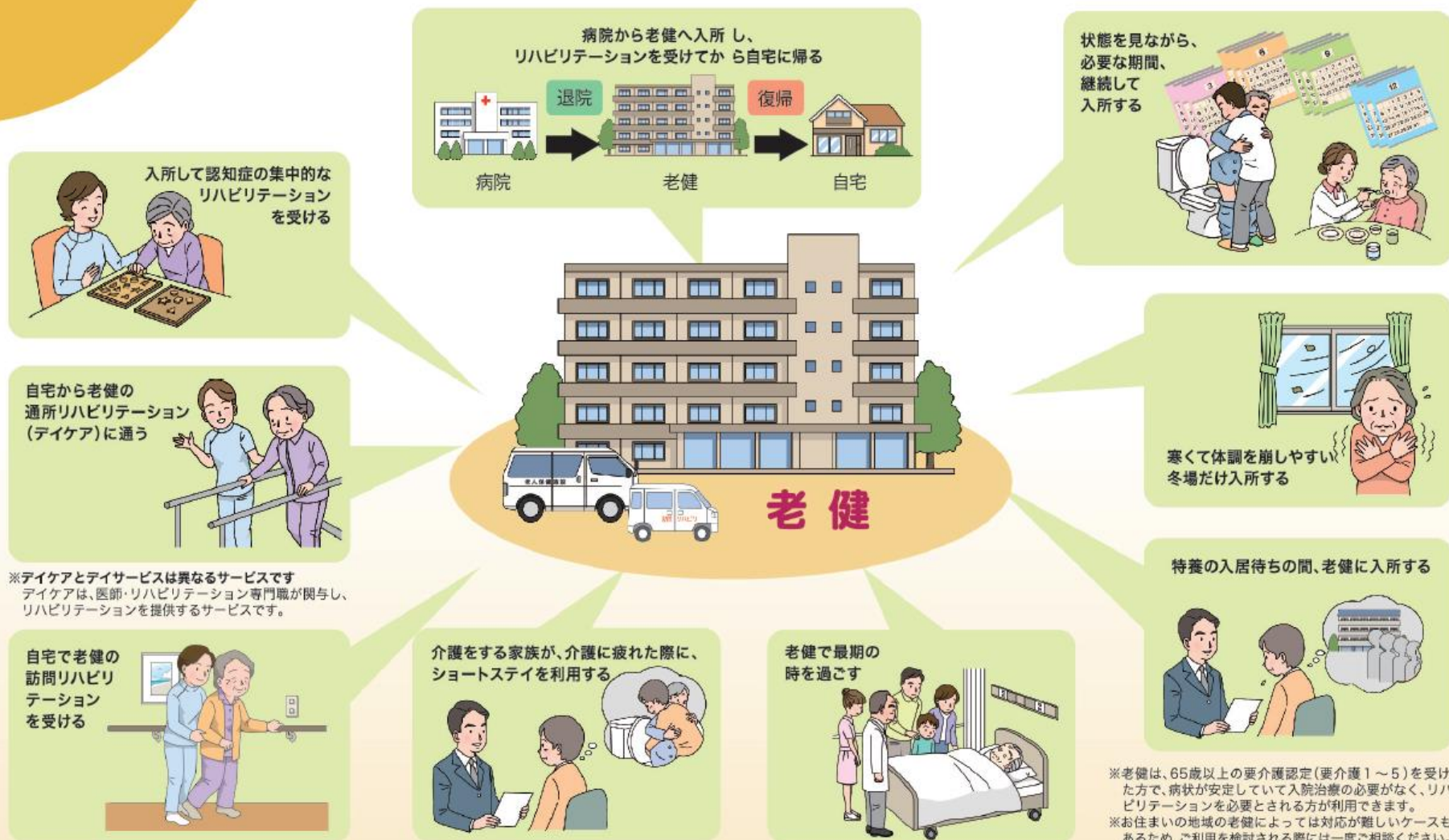
▶ どんな人が利用対象なのか？

→ 要介護 1 から要介護 5 の認定を受けている方
病状が安定し入院する必要がない方

▶ どんな専門職が配置されているのか？



▶ どんな利用の仕方があるのか？



1か月以上の入所や短い期間の入所（ショートステイ）、通所リハビリテーション、訪問リハビリテーションなどのサービスを、すべて提供できるのは老健だけです。

介護老人保健施設とは？(老健)

- ▶ どれくらいの費用がかかるのか？（入所した場合）

→介護度、課税状況、年金収入、貯蓄等によつて異なる

大部屋 約7～12万円

個室 約8～17万円

介護負担割合によっては、もっと高いことも

- ▶ 入所期間はどれくらいか？

→おおよそ3ヶ月～6ヶ月

宮崎江南病院附属介護老人保健施設



個室



2床室



4床室



当施設を利用され、自宅へ
退所された方の一例を紹介します

- ▶ 入所者 A様 80歳代 女性
- ▶ 身体状況 日常生活において介護が必要
- ▶ 家族状況 1人暮らし 市内に長女、
県外に次女が住んでいる

入所までの経過

元々1人暮らしで、体も元気だった。
R6年9月頃より足に力が入らなくなり、
転倒することが増えた。
病院を受診し、検査の結果、脊椎関連の
疾患の診断を受け入院。
日常生活において、介護が必要な状況と
なり、介護保険申請し、リハビリ、今後の
生活の場の検討のため当施設へ入所となっ
た。

自宅復帰に向け取り組んだこと

●介護保険サービスの調整

ケアマネージャー、本人、家族と相談し
自宅退所後の生活をイメージ

通所リハビリ

訪問看護

短期入所(宿泊)

福祉用具レンタル



自宅復帰に向け取り組んだこと

●自宅環境の調整

自宅へ訪問し、自宅環境を確認

⇒介護保険サービスを利用し

福祉用具をレンタル

(ベッド、車いす、移乗用リフト、
スロープ)



自宅復帰に向け取り組んだこと

- 訪問診療(往診)の調整

⇒ ご家族と相談し、自宅に訪問し
診療可能なかかりつけ医を調整



自宅復帰に向け取り組んだこと

- 家族への介護指導実施

- ⇒ オムツ交換、医療的ケアについて
介護士、看護師より説明

- ⇒ 福祉用具取り扱いについて、福祉用具
業者より説明



自宅へ退所

介護保険サービスを利用しながら、ご自宅で生活されています。

当施設の通所リハビリやご家族不在時に
ショートステイ(短期入所)
を利用されています。



最後に

興味が湧いた、見学したいなど、
ありましたら、いつでもご連絡お待ちしております！！

